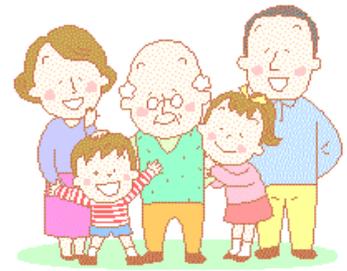


Chutan-Reha Support Center News  
中丹地域  
リハビリ支援センターニュース  
Vol.002(2004.07)



編集担当：小幡彰一  
TEL・FAX 0773-75-2094 (直通)  
E-mail chutan-rh@mx.nkansai.ne.jp  
<http://www.chutan-rh.jp>

- < 内容 >
- 1 平成15年度の事業報告です
  - 2 1年間で55件のリハビリ相談
  - 3 リハビリ相談窓口を拡大
  - 4 脳障害者の社会参加支援を考えるつどい 開催のお知らせ
  - 5 平成16年度リハビリテーション従事者研修会のお知らせ
  - 6 リハビリテーション情報提供書は来てますか - ?
  - 7 連載漫画 ちゅうたん劇場
  - 8 中丹支援センター Q & A コーナー

## 1 平成15年度の事業報告です

4月から、舞鶴赤十字病院リハビリテーション課内にリハビリ相談窓口を設置し、リハビリ相談受付サービスを開始しました。またホームページを開設し広く情報提供を行いました。7月には各分野の代表者からなる「地域リハビリテーション中丹圏域連絡会」が開催され、研修会、リハビリ情報提供書、リハビリ追跡調査、資源調査、などについて協議されました。9月には各保健所管内に作業部会を設置し、脳卒中患者様等を対象とした退院後追跡調査を行い、中丹地域における連携の現状と問題点の抽出作業を行いました。

10月から2月にかけて、地域でリハビリテーションに携わる方を対象に実技を中心とした「リハビリテーション従事者研修会」を各保健所管内で開催しました。研修会後のアンケートでは、参加者の約8～9割が「興味を持って聞いた」と回答されており、今後も事例検討などを中心とした研修や15年度と同様の基礎研修を繰り返し実習できるような機会を多くの方が希望されていました。11月には介護保険施設等のリハビリ資源調査を行い、結果を「地域リハビリテーション連携推進ガイド」にまとめて、医療機関や居宅介護支援事業所等に配布しました。また病院から地域への情報提供を促すため「退院時リハビリテーション情報提供書」の書式を策定し、各医療機関のリハビリテーション部門に使用をお願いしました。2月にも「地域リハビリテーション中丹圏域連絡会」が開催され、リハビリ追跡調査の結果報告と、相談窓口のあり方、退院前カンファレンスの持ち方などについて協議されました。3月末にモデル事業としての当事業が完了し、平成16年度も引き続き舞鶴赤十字病院が「中丹地域のリハビリテーション支援センター」として京都府より指定を受けました。



<< 詳しい内容はホームページに掲載しています >>

## 2 1年間で55件のリハビリ相談

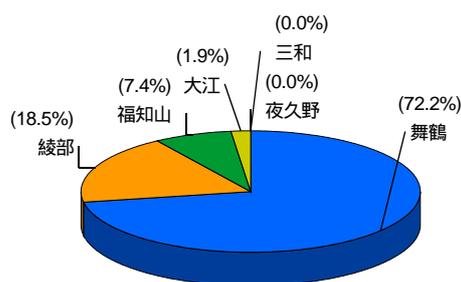
平成15年度の1年間によせられた相談件数は合計55件で、そのうちの44件については、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士による訪問指導を行いました。

リハビリ支援センターが位置する舞鶴地域での相談が72%と最も多く、舞鶴から遠くなるほど相談件数が減少する傾向にあり、残念ながら三和町と夜久野町からの相談はありませんでした。

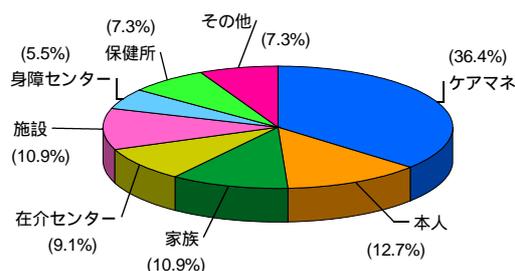
相談者は、介護支援専門員からの介護保険に関わる相談が最も多く、次いでご本人やご家族からの相談も多くみられました。

相談内容では、在宅や施設での具体的なリハビリの内容に関する相談が最も多く、病院退院時におけるリハビリ情報の提供不足や、退院後長期にわたり、リハビリを受けられていない事例が多くみられました。活動能力に合わせた住宅改修や、福祉用具の選択なども求められました。

地域別相談件数



相談者



## 3 リハビリ相談窓口を拡大

下記の中丹地域リハビリ支援センター相談窓口まで直接ご連絡をいただくか、または、中丹地域で現在かかられている病院の理学療法士または作業療法士、言語聴覚士に、おたずね下さい。ご相談の内容により、病院からリハビリテーション支援センターへ連絡をいただき、ご相談に対応させていただきます。

### < 相談受付時間 >

月～金曜日 8時30分～16時45分  
土曜日 8時30分～12時30分

\* 日曜祝祭日、第2・4土曜日は休みます

ご相談はお気軽に。費用はかかりません

中丹地域リハビリテーション  
支援センター 相談窓口

直通電話・FAX

0773-75-2094

E-mail chutan-rh@mx.nkansai.ne.jp

http://www.chutan-rh.jp

〒624-0906 舞鶴市宇宮谷4-2-7番地 舞鶴赤十字病院リハビリテーション課内

## 4 脳障害者の社会参加支援を考えるつどい 開催のお知らせ

中丹障害者生活支援事業「青空」福知山センターと福知山市・三和町・夜久野町・大江町の主催により、頭部外傷や病気による後遺症を持つ「若者と家族の会」副会長の田中明氏による「私たちのねがい」や、やまぐちクリニック院長の山口研一郎氏による「高次脳機能障害と社会参加支援」という内容の講演会が開催されます。

日 時：7月24日(土) 13時～16時

会 場：福知山市民会館(福知山市役所西隣)31号室(3階)

\* お問い合わせは「青空」TEL：0773-24-4439、FAX：0773-24-4459 担当 村松・芦田まで

## 5 平成16年度リハビリテーション従事者研修会のお知らせ

昨年同様に、在宅や施設、病院、診療所などで実際にリハビリテーションに従事されている、看護師、介護福祉士、運動指導員、ホームヘルパー等の方々を対象に、基本的な実技やリスク管理、関係機関との連携方法等を中心とした研修会を以下の通り開催いたします。昨年受けられていない方はぜひ受講してみてください。費用は無料です。

<申込先> 中丹東保健所 TEL：0773-75-0806 FAX：0773-76-7746 奥井まで  
中丹西保健所 TEL：0773-22-6381 FAX：0773-22-0429 小林まで

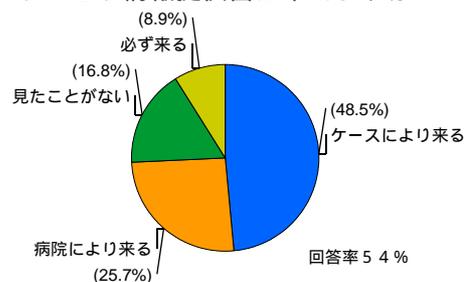
開催日	会場		内容
9/7 火	綾部	中丹東農業改良普及センター	第1回研修会(2部) すぐに使える関節可動域(ROM)訓練 すぐに使える住環境調整
9/8 水	舞鶴	中丹東保健所	
9/10 金	福知山	中丹西保健所	
10/5 火	綾部	中丹東農業改良普及センター	第2回研修会(2部) すぐに使える筋力訓練 すぐに使える摂食嚥下訓練
10/6 水	舞鶴	中丹東保健所	
10/8 金	福知山	中丹西保健所	
11/9 火	綾部	中丹東農業改良普及センター	第3回研修会(2部) すぐに使えるトランスファー(移動・移乗) すぐに使えるレクリエーションテクニック
11/10 水	舞鶴	中丹東保健所	
11/12 金	福知山	中丹西保健所	

## 6 リハビリテーション情報提供書は来てますか - ?

「退院時リハビリテーション情報提供書」とは、平成15年度の連携推進事業において病院から退院後にかかわる施設や居宅サービス事業所に対して、退院時にリハビリの継続に必要な情報を提供し、同じ目標でリハビリができるようにとの目的で作られました。16年6月のアンケート調査から、中丹圏域の全てのリハビリテーション医療機関で使用され始めています。それでは介護保険施設等(デイケア・デイサービスを含む・以下施設)に情報提供書はどの程度来ているのでしょうか?

アンケート調査では「必ず来る」「ケースに応じて時々」「病院によって時々」を含めて83%の施設に来ており、全ての施設で「情報提供書は役立っている」との回答を得ました。しかし「見たこともない」と回答している施設が17%もあり、今後も病院に対する期待は大きいと思われます。

リハビリ情報提供書は来てますか?



### <施設からリハビリ情報提供書に寄せられたコメント>

情報提供書があれば退院した後の対応が適確にでき、いいサービスが提供できますので必ず来るようになると嬉しいです。より具体的でより詳しいものを期待します。

ほとんどこちらから請求している。

専門用語や略語が多いと分からないことがある。ケアプランに活用しています。

退院後に状態が変化され継続しての活用は難しい。

ケースに応じて提供していただけるように依頼している。

情報に基づいた援助ができる。

細かく記載されており質問すると来苑して頂いて指導もして頂きました。

退院直近の情報を頂くので、利用者様を混乱させることなく同じ目的で訓練が続けられるので効果も大きいと思います。具体的な内容なので継続して関わりがもてています。

詳細な内容であり役立っている。

退院後デイサービスでできるリハビリ内容を指導して頂ければ有り難いです。





8 中丹支援センター Q&Aコーナー

Q . リハビリ訪問指導サービスは介護保険でいう訪問リハビリとどこが違うのですか？

A . 介護保険や医療保険で利用できる訪問リハビリは医師の指示のもとに利用者に対して行う治療行為が含まれ、利用料も1割負担しなければなりません。ご自宅で定期的なリハビリが可能となります。しかし中丹地域では訪問リハビリを提供できる事業所が大変少なく、利用できても1～2週間に1回などと回数を増やせない事業所もあります。そこで日常的に関わっておられるご家族や訪問看護師、ヘルパーさんなどが普段のリハビリに大変重要な役割を担うこととなりますが、そういう方々を対象に生活や介護の場面で継続してできるリハビリの工夫や住宅改修、福祉用具の指導、適切な医療福祉サービスの利用を紹介したりするのが「リハビリ訪問指導サービス」です。こちらは無料ですが、業務上、数ヶ月単位でしか継続的に関わることができず、リハビリ支援センターの課題の1つです。

\*\*\*\*\* 編集後記 \*\*\*\*\*

5月に保健所の再編に伴い事務局のある舞鶴保健所と綾部保健所が統合され中丹東保健所になりました。福井さんをはじめ前任者の方々には大変お世話になりました。次号は中丹地域リハビリテーション研究会(仮称)や各サービス利用者の声をぜひ掲載したいと思います。(小幡 彰一)